

いのちのきらめき発見博士

# 農薬に頼らないで、生きものを活かす農業を学ぶ

東北大学川渡フィールドセンターでは「土」「作物」「家畜」「草地」「微生物」など、フィールドに密着した幅広い分野で基礎から応用まで様々な研究を行っています。

地球にはきれいな「空」「海」「川」そして「大地」「森」があり、そこには、目には見えない生きものから大きな生きものが“せめぎあいと助け合い”をしながら、生きものが豊かな地球をつくりあげてくれています。  
今回は「お米と田畑の生きもの」にスポットをあて五感で体験できるプログラムを企画しました。

何十年も何百年も世代を超えて日本の食を支えてくれている「お米」

私たちの心も体も湯気立つ艶やかなお米を食べることでどれだけ幸せな気持ちにさせてもらっているのでしょうか？

私たちにとって、とても大切な「お米」ができるまでは、いろいろな生きものが活躍しています。

この講座に参加して、黄金の稲穂がキラキラ輝く大空の下で博士と時間を共有し、あなたも『お米と生きもの大好き博士』になりませんか？

## 講座の内容

### 体験

#### 1. 田んぼの生きもの

有機栽培の田んぼで生きものを探そう！  
どんな種類の虫やカエルたちに出会えるか？

#### 2. イネ刈体験

・有機栽培の田んぼの稲を刈ってみよう！



### 体験&試食

1. お米を炊いて食べてみよう！  
2品種の食べ比べ！試食1人1合まで
2. バターやジェラートを作ろう！
3. キノコ汁 他はお楽しみ！

### 講話

講師 東北大学農学研究科  
栽培植物環境科学分野 准教授 伊藤豊彰

田んぼには、たくさんの“生きもの”が暮らしています。  
イネがうまく育つには、田んぼのミズやクモなどの生きものたちの力が必要なことや、野菜畑の生きものをうまく利用する農法のことも紹介します。  
お米と田畑の生きものを学んで、農業と食べものや環境について、考えてみませんか。



**日 時**：平成29年9月30日（土） 午前 10時00分～午後 3時30分（雨天決行）  
**受付**：平成29年9月 8日（金）～9月15日（金）  
**定員**：20名 ※先着順

**場 所**：東北大学大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター

**参加費**：500円 ※損害保険料込

**持ち物**：水筒・タオル・マスク・軍手・雨具・虫除け・保険証

※野外活動に適した服：ぼうし・長袖・長ズボン・長靴

**申込方法**：申込用紙に必要事項を記入の上 **9月15日（金）**までFax・郵送またはE-mailにてお申し込み下さい。

## ★お問い合わせ★

東北大学大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター

〒989-6711 宮城県大崎市鳴子温泉字蓬田232-3

TEL：0229-84-7312 FAX：0229-84-6490

E-mail：far-syom@grp.tohoku.ac.jp

H P：http://www.agri.tohoku.ac.jp/kawatabi/index-j.html

<主催> 東北大学大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター  
東北大学コンポスト総合科学研究プロジェクトチーム

<共催> 東北大学大学院農学研究科東北復興農学センター  
特定非営利活動法人まちづくり政策フォーラム

